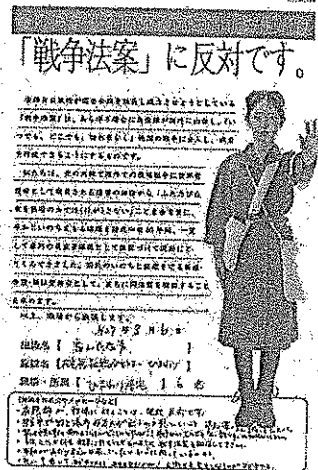


医療労働者の戦争法案反対 全国355職場が決議 メッセージも続々

「ふたたび白衣を戦場の血で汚(けが)さない」を合言葉に日本医療労働組合連合会(日本医労連)は、戦争法案に反対する職場

決議をすすめています。「いのちまもる医療・介護・福祉労働者は戦争法案に反対です」との決意をこめて、これまでに全国355職場が決議。メッセージの一部を紹介いたします。

でも許せません。兵士を戦場に戻す看護はさせられません。
▽私たちがこの手で持ちたいのは、人を殺す兵器ではありません。私たちがこの手で持ちたいのは、利用者さんの温かい手です。私たちは介護の仕事と平和な日本に誇りを持っていきます。
▽私たちが人間の命を



メッセージがびっしりと書き込まれた職場決議

取り扱う者として、決して戦争は許せるものではありません。もっと一つの命に向き合った考え方を望みます。
▽住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように相談に応じます。武力で生活・暮らしを守れるとは到底思えません。
▽命を守る看護師は戦争に反対です。人殺しは嫌いです。
▽死んでいい命はありません。戦争法案絶対反対！
▽戦争になると医療労働者も加害者となります。ベッドが軍隊に占拠されれば、国民の医療を受ける権利が奪われます。